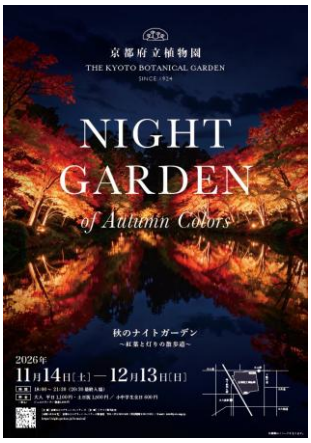
2026 年 11 月 2 日
東急不動産 SC マネジメント株式会社

日本最古の公立植物園「京都府立植物園」の夜間イベント NIGHT GARDEN of Autumn Colors（秋のナイトガーデン）～紅葉と灯りの散歩道～　2026 年 11 月 14 日（土）より開催

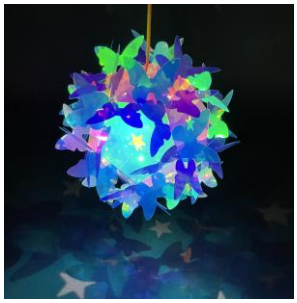
東急不動産 SC マネジメント株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：大久保 次朗）は、2026 年 7 月より共同事業体「名称：京都みらいグリーンパートナーズ」の一員として、京都府より京都府立植物園の施設管理・運営等業務を受託しています。今回、当共同事業体では、京都府立植物園のナイトタイムエコノミーを創出し、植物園の新たな魅力をお客様へ届けると同時に、紅葉を始めとした植物鑑賞の魅力を改めて発信する夜間イベント「NIGHT GARDEN of Autumn Colors（秋のナイトガーデン）～紅葉と灯りの散歩道～」を 2026 年 11 月 14 日（土）から 12 月 13 日（日）まで開催します。

本イベントでは植物園内の紅葉ライトアップに加え、音響による没入体験、夜店の出店、手持ちランタンを持って園内を散策するナイトウォーク、また土日祝には観覧温室の夜間開室を実施し、総面積 240,000 ㎡の京都府立植物園のスケールを生かした総合イベントとしてお楽しみいただけます。




紅葉ライトアップ（イメージ）

【「NIGHT GARDEN of Autumn Colors（秋のナイトガーデン）～紅葉と灯りの散歩道～」開催概要】
名称：NIGHT GARDEN of Autumn Colors（秋のナイトガーデン）～紅葉と灯りの散歩道～
期間：2026 年 11 月 14 日（土）～12 月 13 日（日）
時間：18:00～21:30　※20:30 最終入園
場所：京都府立植物園
主催：京都みらいグリーンパートナーズ
共催：京都府立植物園
企画：トライト株式会社
料金（税込）：大人　平日 1,100 円／土日祝 1,500 円　小中学生全日 600 円
※手持ちランタンは別途 1,500 円（税込）
特設サイト：https://night-garden.jp/botanical/


手持ちランタン（イメージ）

■京都府立植物園×みのおキューズモールコラボレーションイベント

「NIGHT GARDEN of Autumn Colors（秋のナイトガーデン）～紅葉と灯りの散歩道～」の開催に合わせ、京都府立植物園と当社が大阪府内で運営する商業施設「みのおキューズモール」のコラボレーションイベントを開催します。植物を使用したワークショップで「見る・つくる」体験をお客様に提供し、植物の魅力を楽しく紹介します。親子で楽しめる、季節の植物を使った小さなクラフトや、植物の名前や特徴を楽しく学べる「植物カード」の配布も行いますので、イベントの後もご家庭で植物に親しんでいただけます。さらに、京都府立植物園の見どころや楽しみ方、秋のナイトガーデンの情報も紹介します。

【見て作って学ぶ「植物と出会う秋。」開催概要】

名称：見て作って学ぶ「植物と出会う秋。」（京都府立植物園とキューズモールのコラボレーションイベント）
日程：2026 年 11 月 14 日（土）～11 月 15 日（日）
時間：11:30～17:30
場所：みのおキューズモール CENTER 棟 2 階西側催事スペース（大阪府箕面市西宿 1 丁目 15 番 30 号）
主催：東急不動産 SC マネジメント株式会社
企画：株式会社 Skeleton Crew Studio
公式 HP：https://qs-mall.jp/minoh/
※イベントの詳細は、施設公式 HP にてご確認ください。





■共同事業体「京都みらいグリーンパートナーズ」について

代表企業	
企業名	役割
グリーンホスピタルサプライ株式会社	事業統括、森のカフェ運営、イベント等自主事業

構成企業	
企業名	**役割**
住友林業緑化株式会社	イベント等自主事業
日本パナユーズ株式会社	入園券販売・改札業務、来園者の窓口案内に関する業務等
東急不動産 SC マネジメント株式会社	マーケティング等
その他 1 社	植物園の展示計画に対応した園内の環境整備業務等

公共施設における指定管理・PFI 事業等、商業施設の運営管理・活性化の実績を有する企業が集まり、園地管理、広報、来園者サービス、マーケティング、施設管理、地域連携等、それぞれの専門性を活かし、総合的に業務を推進しています。

京都みらい
グリーンパートナーズ

■「京都府立植物園」について

「京都府立植物園」は、1924 年に開園した日本最古の公立植物園として、現在においても保有品種や栽培技術、来園者数など様々な面で国内トップレベルの施設であり、次の 100 年に向け「京都から世界の生物多様性保全に貢献する」ことを将来ビジョンに掲げ、植物の保全、栽培・育成や学習支援など、植物園の役割を踏まえた取組を推進しています。



観覧温室



桜林



洋風庭園　ばら園



園内の紅葉

■東急不動産 SC マネジメントについて

東急不動産 SC マネジメントは、東急不動産ホールディングスグループの一員として、商業施設の運営を中核事業とする会社です。多様な運営実績を活かし、リーシング・販促・運営管理・コンサルティングを一体的に提供します。

賑わい総合プロデュース会社を目指し、単なる商業施設運営の領域を超え、街や施設が持続的に活力を生み出す活動や、地域と連携した社会的意義のある活動なども推進しています。「夢ある未来」へ向け、施設の資産価値向上と街の新たな価値創造に取り組んでいます。

また、今回の京都府立植物園の運営業務において当社の専門マーケティングチームが、GPS による人流データや Web 行動データを用いて、多角的な視点から分析を実施、「来園者のニーズ」を客観的に把握し、最適なマーケティング活動を実施します。https://www.tokyuland-scm.co.jp/

■東急不動産ホールディングスグループが「GROUP VISION 2030」でめざす、サステナビリティ・環境と生物多様性の取り組みについて

東急不動産ホールディングスグループでは、長期ビジョン「GROUP VISION 2030」において、全社方針のひとつを「環境経営」と定めました。重点課題「脱炭素社会」「循環型社会」「生物多様性」のもと、グループのバリューチェーンを活かしながら、ステークホルダーと共に環境価値を創出、さらに社会課題解決を掛け合わせることで「環境プレミアム」の創出をめざしています。

生物多様性においては、2011 年企業として生物多様性方針を策定。都市は「広域渋谷圏※」、地方は「リゾート施設 13 地域」を当社グループ独自のネイチャーポジティブ優先地域と設定し、取り組みを推進しています。

※広域渋谷圏とは、東急グループの渋谷まちづくり戦略において定めた、渋谷駅半径 2.5km エリアを指す。

■施設概要

施設名称　：京都府立植物園
所在地　：京都市左京区下鴨半木町
総面積：約 240,000 ㎡
開園時間：9:00～17:00（通常時）
公式 HP　：https://www.kyotobotanicalgardens.jp/
アクセス　：【正門】　京都市営地下鉄 烏丸線「北大路駅」3 番出口より徒歩 10 分
【北山門】京都市営地下鉄 烏丸線「北山駅」3 番出口直結